

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:北九州市
 調査地点:洞海湾

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	360,000	4.5	12
[1-1] モノクロロビフェニル類	950	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	6,400	1	3
[1-3] トリクロロビフェニル類	57,000	0.5	1.2
[1-4] テトラクロロビフェニル類	140,000	0.3	0.8
[1-4-1] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (# 77)	2,500	0.2	0.6
[1-4-2] コプラナー-PCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (# 81)	98	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	80,000	0.4	1.1
[1-5-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (# 105)	6,800	0.3	0.8
[1-5-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 114)	530	0.2	0.4
[1-5-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 118)	12,000	0.4	1.1
[1-5-4] コプラナー-PCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 123)	390	0.3	0.8
[1-5-5] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (# 126)	58	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	38,000	0.6	1.6
[1-6-1] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 156)	920	0.3	0.8
[1-6-2] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (# 157)	180	0.3	0.8
[1-6-3] コプラナー-PCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 167)	370	0.4	1.0
[1-6-4] コプラナー-PCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (# 169)	11	0.3	0.8
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	28,000	0.6	1.5
[1-7-1] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (# 170)	2,900	0.5	1.4
[1-7-2] コプラナー-PCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 180)	7,800	0.6	1.5
[1-7-3] コプラナー-PCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (# 189)	110	0.3	0.7
[1-8] オクタクロロビフェニル類	7,500	0.3	0.7
[1-9] ノナクロロビフェニル類	600	0.3	0.8
[1-10] デカクロロビフェニル	2,600	0.4	1.0
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	8.100	3	7
[4] ディルドリン	430	2	5
[5] エンドリン	50	0.4	1.1
[7] クロルデン類	740	2.5	6.5
[7-1] <i>cis</i> -クロルデン	200	0.4	1.1
[7-2] <i>trans</i> -クロルデン	230	0.5	1.3
[7-3] オキシクロルデン	2.4	0.9	2.2
[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル	130	0.4	1.1
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル	180	0.3	0.8
[8] ヘプタクロル類	10	1.8	4.7
[8-1] ヘプタクロル	3.7	0.7	1.8
[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド	6.5	0.2	0.6
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド	nd	0.9	2.3
[10] マイレックス	4.0	0.4	0.9
[11-1] α -HCH	5,100	0.6	1.5
[11-2] β -HCH	5,000	1	3
[11-3] γ -HCH(別名:リンデン)	3,500	1	3
[11-4] δ -HCH	5,000	0.5	1.4

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。

平成23年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(単位:pg/g-dry)
 地方公共団体:北九州市
 調査地点:洞海湾

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	nd	0.20	0.40
[13] ヘキサブロモビフェニル類	nd	1.4	3.6
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#153)	nd	0.4	1.0
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル (#154)	nd	0.2	0.6
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル (#155)	tr(0.3)	0.1	0.3
[13-4] 2,3,3',4,4',5'-ヘキサブロモビフェニル (#156)	nd	0.4	1.0
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#169)	nd	0.3	0.7
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)	130,000	47	100
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	20	4	9
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (# 47)	120	10	30
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	16	4	6
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (# 99)	72	2	5
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	160	3	9
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (# 153)	24	1	2
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (# 154)	16	1	3
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	210	3	7
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (# 175) 及び	73	3	7
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (# 183) の合計値			
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	440	4	10
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	14,000	9	23
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	120,000	20	40
[15] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	53	2	5
[16] ベルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	71	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	3,800	2	5
[18] エンドスルファン類	nd	14	39
[18-1] α -エンドスルファン	nd	10	30
[18-2] β -エンドスルファン	nd	4	9
[19] 1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類	nd		
	2,300	1,200	1,700
	tr(1,500)		
[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	490	280	420
	tr(330)		
[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	170	250
	nd		
[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	1,700	260	400
	1,000		
[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	250	350
	nd		
[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン	nd		
	nd	210	280
	nd		
[20] N,N-ジメチルホルムアミド	nd		
	nd	2,600	3,200
	nd		

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 定量[検出]下限値は同族体ごとの定量[検出]下限値の合計値とした。